



# 千代小だより

第11号  
令和8年1月8日



<http://www.kawachinagano.ed.jp/chiyosho/>

## あけましておめでとうございます

今年のお正月は急激に冷え込む日もありましたが、お天気にも恵まれ、穏やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆さまにとって幸多い年となりますことをお祈りいたします。本年もよろしくお願ひします。



3学期が始まりました。今年度の締めくくりと次年度に向けての準備を進めていかなければと考えています。それと同時に、子どもたちが心身ともに健康に育つよう、大人が子どもたちの生活環境や生活リズムを整えることも大切です。楽しい冬休みを過ごしたあと、学校モードに切り替えることが難しい子どももいるかもしれません。学校がお手伝いできることはできる限りさせていただきますので、家庭と学校が協力して、一緒に考えていきたいと思っています。

また、新しい年を迎え、子どもたちが気持ちを新たに、目標を持って、今年もいろいろなことにチャレンジしようとしている今の気持ちを大切に、応援していきたいものです。冬休みのことや今年がんばりたいことなど、子どもたちからたくさんお話を聞かせてほしいです。

### おしらせ



### ○令和8年度在籍児童数確認

1月9日(金)に「転居予定調査について」のプリントを配付します。在籍児童数は次年度の学級編成に大きく関わるため、正確な児童数の把握が必要となります。この調査は、全校児童を対象に行います。配付したプリントに、令和8年度の在籍の予定について記入していただき、1月23日(金)までに学級担任に提出してください。また、学年によっては複数回実施することもありますので、よろしくお願ひします。

## ○漢字検定・算数検定

1月31日(土)に漢字検定、2月14日(土)に算数検定が行われます。今年度もたくさんの申し込みがありました。集合時刻は9時です。受検する児童には、後日、個別に手紙を配付しますので受検する級、受検会場などを確認してください。

## ○1月授業参観について

1月29日(木)はフリー参観です。参観していただける時間は2時間目から5時間目となります。書写展に保護者の方が来ていただけるのも、フリー参観の日のみとなります。時間割などは各担任からお知らせしますので、確認をお願いします。

## ○OPTA給食試食会について

給食試食会への多数のお申込みありがとうございます。少し窮屈かもしれませんが、お申込みいただいた方はみなさんご参加いただけます。お申込みいただいた方には、別途お知らせを後日お配りします。



### 教頭のつぶやき

二学期もそろそろ終わりという頃に、パンジーの苗が50株ほど学校に届きました。これは1学期にご家庭にご協力いただきました緑の募金の一部が学校に還元されたものです。子どもたちに植えてもらいたいと考えましたが、委員会活動の時間等と合わせられず、私が植えることにしました。

花を植えるときに、ポットを取って根の状態を見ると、びっしりと白い根が巻きついているものもあれば、綺麗に花が咲いているのにポットを外すと形が崩れてしまうくらい根が張っていないものもありました。根が巻きついているものは、少しほぐすことで根が下へ下へと伸びるのを助け、株を大きく育てることができるので、少しほぐして植えつけました。

昨年1月号でも書きましたが、私は子どもたちの「こころの根」を育てることが大切だと思っています。根っこは土の中にあるものなので、基本的に見ることができません。ですから、子どもたちと接するときに「この子のこころの根っこはどんな状態かな」と考えながら、声をかけるようにしています。太く枝分かれした根っこを持っている子、見た目は元気でも根っこに栄養が行き届いていなくてSOSサインを発している子、今にも倒れそうなくらい揺さぶられているけれど、しっかり張った根っこのおかげでまた立ち上がることができる子などいろいろな子どもがいるように感じます。子どもの様子を日頃から丁寧に観察して、子どもが大きく成長できる強い根を張ることができるよう、ご家庭とともに子どもたちを育てていきたいと考えています。



# 1 月行事予定



日	曜	主要行事	下校時刻	日	曜	主要行事	下校時刻
8	木	<短縮3h> 3学期始業式 集団登校(～15日木曜日)	全学年11:30	22	木	地区なかよし作品展 避難訓練(地震)予備日	12年14:50 3～6年15:40
9	金	3学期給食開始日 二計測《6年》	12年14:50 3～6年15:40	23	金	<B校時4h>	全学年13:20
10	土			24	土		
11	日			25	日		
12	月	成人の日		26	月	社会見学《3年》【消防署】 長休み 走ろうタイム③ 給食交流会《4年》	123年14:50 456年15:40
13	火	二計測《5年》	1年14:50 他15:40	27	火		1年14:50 他15:40
14	水	<通常5h>二計測《3年》 長休み 走ろうタイム①	全学年14:50	28	水	<通常6h>長休み 走ろうタイム④ 6限 委員会活動(1・2月分) 6限 ぐんぐん《4年》⑦	1～5年14:50 6年15:55
15	木	<B校時6h>二計測《4年》 遠足《1年》 昔のくらし大発見《3年》	1年14:30 2年14:20 3～6年15:10	29	木	<通常5h>マラソン大会《135年》 書写展(保護者鑑賞日) フリー参観 PTA給食試食会	全学年14:50
16	金	<B校時6h> 二計測《2年》	12年14:20 3～6年15:10	30	金	おもちゃ作り《2年》	12年14:50 3～6年15:40
17	土	10:00 新入生制服採寸 《6年該当者》<千代田中>		31	土	漢字検定	
18	日						
19	月	二計測《1年》 避難訓練(地震) 6限 ぐんぐん《3年》	123年14:50 456年15:40	<h2>3学期の主な行事</h2> <p>1月 29日(水)フリー参観</p> <p>1月 31日(土)漢字検定</p> <p>2月 14日(土)算数検定</p> <p>2月 24日(火)</p> <p>見守り隊「ありがとう」会</p> <p>3月 18日(水)卒業式</p>			
20	火	3限 スマホ・ケータイ教室《123年》 4限 同上《456年》 昼休み わくわく遊び④	1年14:50 他15:40				
21	水	<通常6h> 長休み 走ろうタイム② 6限 クラブ活動⑤	123年14:50 456年15:55				

## ★登下校時の車での送迎について★

二学期の終わりがごろの12月18日にテトルでお願いのご連絡をしました。ご家庭でさまざまなご事情があるとは存じますが、許可車を除き、体育館横の道路の車の通行は午前7時30分～午前8時30分まで禁止されております。テトル送信後は、沢田モータープールで乗降されるケースはなくなってまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。今後、子どもたちにも交通ルールを守ることを、特別の事情がない限り、自分で歩いて登下校することについて、指導を重ねてまいります。「今日の帰り、ファミリーマートでお母さんが車で待ってるねん」と子どもから聞くことがなくなることを願ってやみません。

# 校長室だより

## 『感情の正体（渡辺弥生著）』を読んで

冬休みは先生たちの休息時間とともに学びの時間でもあります。3 学期の子どもたちにどんなことを学ばせようかとあれやこれやと思いを馳せています。その流れで研修会に行ったり、本を読んだりする先生も少なくありません。

私は、研究会に行って「次期学習指導要領の改訂」について難しい話を聞いてきました。久しぶりに議論が宙に飛んでいる状態で今一つピンときませんでしたが、これからぼちぼち理解を深めていきたいと思っています。それと、『感情の正体』という本を読んで学びました。

## 愛着形成について

乳児期には親からの愛情を感じ取ることが自分の存在価値を確認する第一歩です。「うれしい、いやだ」という快・不快の感情に寄り添ってくれる大人に対して存在しても良いという愛着関係が作られます。ある心理学者が赤ちゃんにお母さんと離れる実験をしました。その結果、赤ちゃんが4つのタイプに分かれることを見つけました。「安定型」「葛藤型」「回避型」「無秩序型」です。「安定型」は母親が離れたら泣いて、戻ってきたらうれしがります。「葛藤型」は親が戻ってきても泣いたり怒ったりが続いてしばらく落ち着きません。「回避型」は親が離れても泣かずに、戻ってきても親のところには近寄りません。「無秩序型」は親が近づいても目を合わせようとせずおとなしいですが、突然、泣き出すような矛盾した行動をとります。

もちろん「安定型」が正しい愛着関係が築けているということです。泣いていたら「よしよし、こわかったね」「おなかすいたね」「おしっこが気持ち悪いね」という感情を分かってくることが愛着形成を進めて、おむつが濡れたら「気持ち悪い」という感情だと分かっていくのに影響を与えています。逆に、子どもに拒否的な態度をとり続けると葛藤型や回避型になり、無秩序型は虐待が疑われるそうです。

普段の生活から子どもの気持ちを聴いてあげることが大切で、気持ち（＝感情）が表現できない子どもには「こわいの？」「はずかしいのかな」と代弁してあげることが小学生にとっても必要なようです。親がスマホを見ながら子どもの話を聞いたり、話をしたりすることで「感情」の表出が少なくなることもあるようです。ちなみに10歳をこえて感情の語彙数は増えていき、ポジティブな言葉よりネガティブな言葉の方が多く表出することになるそうです。

## ポジティブな感情を表出する子どもは適応力が高い

ポジティブな感情をたくさん出している子どもは「信頼されている、受容されている、充実している」そうで、学校などに適応していることが明らかにされています。ネガティブな感情をたくさん出している子どもは適応していないことが多く、それは教師や親の否定的な反応が子どもに伝わっているようです。私たち大人は感情を上手に受け止めて「分かったよ」と伝えないとイケません。

## 短い感情表現 → 豊かな感情表現 → 感情のコントロール

「やばい」「きもい」などの短い感情表現は相手に本当の自分の想いを伝えにくく「コミュニケーション障害」と言われています。自分の想いを聞いてくれる大人との関係の中で「感情」の言葉を覚えて、表出し、コントロールする力を身につけなければなりません。